**九州陶磁文化館の概要**

九州（きゅうしゅう）陶磁文化館は、九州・沖縄（おきなわ）独自の陶磁器文化の保存・発展を目的に1980年に開館した。

国の重要文化財2点を含め、およそ30,000点の収蔵品があり、九州の陶磁文化に関して国際的に注目される施設となることを目指している。芸術面･産業面・歴史面で重要となる資料の収蔵・保存･研究・展示が行われている。

館内には、古いものから新しいものまで様々な陶磁器が展示されている。企画展のほか、常設展では日本芸術院会員や国の重要無形文化財保持者（人間国宝）に認定された方の作品を見ることができる。

**展示案内**

この文化館は5つの展示室に分かれており、あわせて常時1,500点ほどが展示されている。理解を深めてもらうため、番号順に観覧することをお勧めする。

第1展示室：有田焼の歴史（蒲原（かんばら）コレクションを含む）

第2展示室：柴田（しばた）夫妻コレクション

第3展示室：九州の古陶磁

第4展示室：現代の九州陶芸

第5展示室：一般展示室

展示ホールにあるからくりオルゴール時計、館外にあるマイセンの鐘、中庭にあるマイセン白磁器でできた冠火食鳥噴水など、ここでしか見られない作品が敷地内のあちこちにある。

また、館内の壁や床、ドアにも有田焼で作られたタイルや備品が使われている。